



明るいリビングでくつろぐ至福のとき。



庭で採れた野菜が並ぶ食卓は楽しい。



今年の春に完成。引き渡し後はセルフで庭づくり。今は、冬野菜を植えている。まわりを囲んでいる赤い木柵は、今野さんご自慢の手づくりだ。

思い描いた手作りの生活  
ログハウスはやっぱりいい

今回の大きなテーマは「手作り」。だが、ログハウス自体の建築の一切は、全てメーカーにまかせることとした。知らない土地で、環境も大きく違う。その判断は良かった。しっかりとログハウスができた。地元の職人さんを使う体制にも共感できる。

建築中、ホームページで進行具合を逐一写真付きでレポートしてくれるのも気が利いていた。現場に行かなくても様子がわかる。楽しみが膨らんだ。

外構工事は、自分で仕上げたかったので、頼んだのは途中まで。ベースとなる整地や境界ブロック、また、畑のための土入れなどはアトリエエムズさんに頼んだ。完成後、すぐ庭づくりに取り掛かれるように段取りしてくれたことはありがたかった。

ログハウスは、やっぱりいい。木の温もりを感じられ、ゆったりとした気持ちになれる。居心地がとてもよく、休日に訪れるのが楽しみで仕方がない。満足だ。コンパクトな間取り、特



施工してくれた職人さんたちと。

「自分でいろいろ手作りしたい」  
今の住まいは、日本家屋。家、庭とも、自分で手を出すことができない。それなら、別荘を建てて思う存分取り組もう。それには、ログハウスがちょうどいい。

オーナー今野さんは、そう考えた。現在は、大阪で食品会社にお勤め。もう間もなく定年を迎える。お子さまも独立。老後も楽しく暮らしたい。お楽しみも独立。老後も楽しく暮らしたい。お楽しみも独立。老後も楽しく暮らしたい。

LOG HOUSE DATA

■ 1階：33㎡ ■ ロフト：19.4㎡

アトリエエムズの  
ワンポイントアドバイス

休日にお庭遊びをされるご夫婦を想定して、景観と陽当たりの良い土地が残るように配置を工夫しました。ドイツのクラインガルテンの「ラウベ」を参考に設計しました。コンパクトにまとめた間取りと特徴的な屋根、欧州風の外観塗装は花壇と畑が混在するお庭にピッタリです。植樹された樹木が育つと更に楽しい空間になっていくことでしょう。

■取材協力：(南)アトリエエムズ TEL.0748-46-5303

実例紹介 10

今野邸 京都府・南丹市

クラインガルテン風別荘で  
野菜&ガーデニングの手作り生活を

「手作り生活をしてみたい」とは、しばしば聞かれる要望だ。野菜作り、ガーデニング、外構工事…、楽しみは十人十色。ログハウスは、その受け皿としてふさわしい家だと言えるだろう。



今野さんは、大阪府の食品メーカーにお勤め。まもなく定年を迎えられる。



オーナーさんからの「一言」

「手作りのモノが良く似合う」

ログハウスは、規模の割に立派に見えるところがいいと思います。また、ログハウスは手作りのモノが良く似合います。いろいろと自分でやってみようという気持ちになります。私の最近の作品はベッドです。

ドイツのクラインガルテンの「ラウベ」を参考に設計した。

難しい立地、細やかな提案  
うまくまとめたくれたメーカーさん

「自分でいろいろ手作りしたい」  
今の住まいは、日本家屋。家、庭とも、自分で手を出すことができない。それなら、別荘を建てて思う存分取り組もう。それには、ログハウスがちょうどいい。

オーナー今野さんは、そう考えた。現在は、大阪で食品会社にお勤め。もう間もなく定年を迎える。お子さまも独立。老後も楽しく暮らしたい。お楽しみも独立。老後も楽しく暮らしたい。お楽しみも独立。老後も楽しく暮らしたい。

それが、アトリエエムズさんだった。要望を良く聞いてくれて、予算内で敷地に合ったログハウスを設計してくれた。実は、土地には若干、考慮すべき点があった。変形した角地だったため、敷地のどこに建物を立てるのか、配置と土地の使い方が悩ましい。その中で、野菜作りとガーデニングのスペースは確保したい。そこで、景観と日当たりの良い土地が残ることを考慮して、配置を工夫してくれた。

細やかな提案にも感心。一枚一枚の窓の大きさ、吹き抜けの高さ、全体のデザイン、外観の塗装など、こだわりの隅々に及ぶ。イメージはドイツのクラインガルテンの「ラウベ」。ここまで考えてくれるのか。最終的に予算内でうまくまとめたくれた。

徹的な屋根、欧州風の外観は、花壇と畑が混在する庭にぴったり。間取りで工夫した開放的なオーブンデッキも最高だ。自然の残る周囲の景観にもよく似合う。

そして、自分で考えながら作る外構工事は楽しい。畑の作物やガーデニングの花々はすくすくと育ち、嬉しい。

思い描いた手作りの生活が始まった。それを見守るログハウスとともに。